

平成 30 年度

# 入 学 者 選 拔 要 項

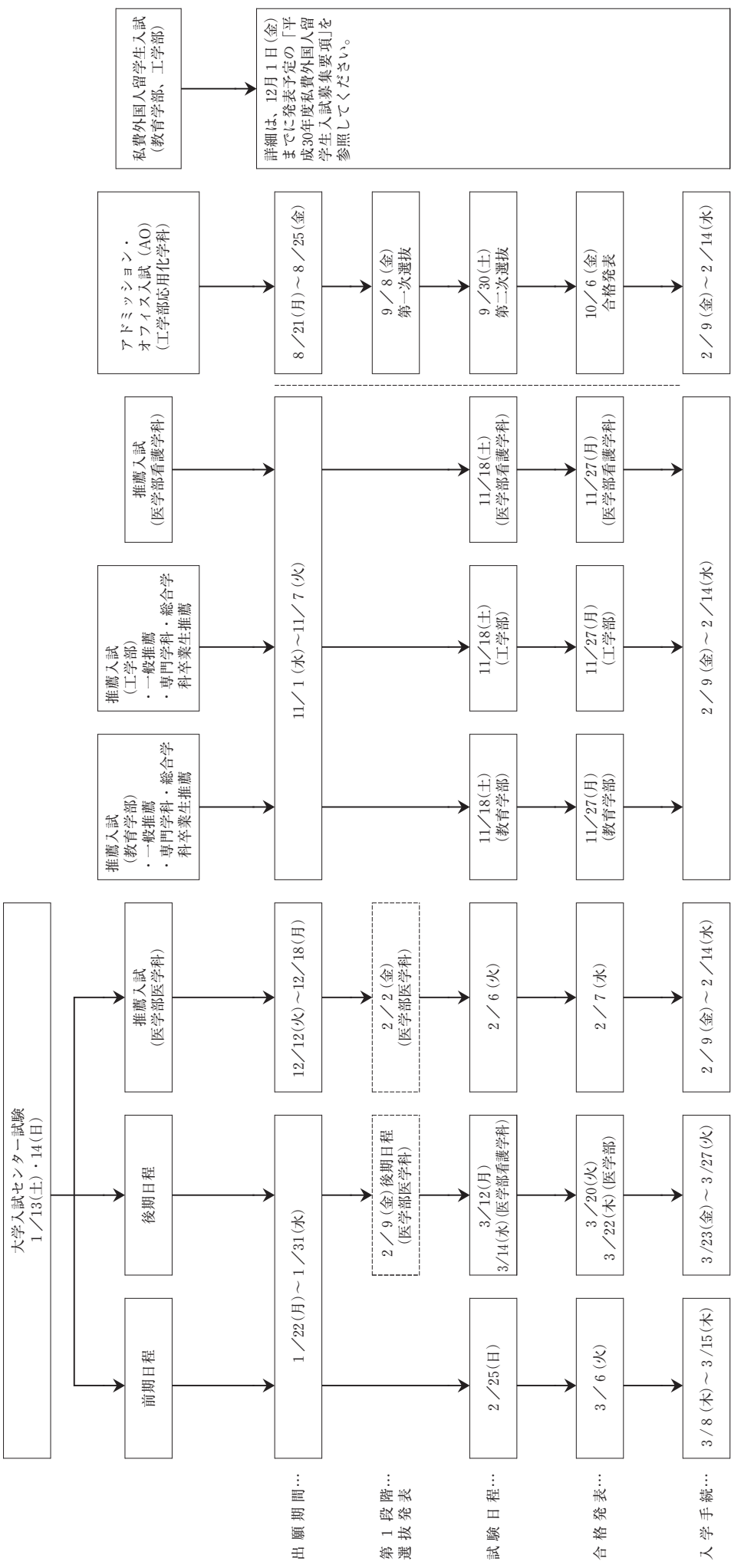


UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

山梨大学

(<http://www.yamanashi.ac.jp>)

# 山梨大学入学者選抜日程の概要



- ・ [ ] は、医学部医学科のみ実施します。
- ・ 医学部医学科の一般入試は、後期日程のみ実施します。
- ・ 入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。
- ・ 工学部の一般入試(前期日程)個別学力検査については、横浜試験会場及び名古屋試験会場でも実施します。詳細は、「一般入試学生募集要項」を参照してください。

# 目 次

Web 出願について .....	2
アドミッション・ポリシー .....	3
医学部医学科入学定員の変更予定について .....	6
I 入学定員（募集人員） .....	7
II 出願資格 .....	8
III 入学者の選抜方法 .....	9
1 教科・科目の表記について .....	9
2 一般入試（個別学力検査）の概要 .....	10
3 推薦入試、アドミッション・オフィス入試の概要 .....	12
4 一般入試等（入学者選抜の実施教科・科目等） .....	14
5 推薦入試 .....	25
(1) 教育学部（一般推薦入試）	
(2) 教育学部（専門学科・総合学科卒業生推薦入試）	
(3) 医学部医学科（推薦入試）	
(4) 医学部看護学科（推薦入試）	
(5) 工学部（一般推薦入試）	
(6) 工学部（専門学科・総合学科卒業生推薦入試）	
6 アドミッション・オフィス入試 .....	33
・工学部応用化学科	
7 私費外国人留学生入試 .....	34
・教育学部、工学部	
IV 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 .....	35
V 大学案内等の請求方法 .....	36
VI 入試情報ホームページ .....	39

## 問い合わせ先

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

（受付時間） 平日（月～金） 8時30分～17時

（ただし、休日、祝日、夏季一斉休業（8/14～8/16）及び年末年始（12/29～1/3）を除く。）

## 《Web 出願について》

本学では、今年度実施する平成30年度入学者選抜（推薦入試、アドミッション・オフィス入試、一般入試）から、Web 出願を導入します。これは志願者がパソコン等を利用し、出願画面から説明手順に従って入力等を行うことにより、出願手続を行うものです。

出願の詳細については、大学ホームページ（<http://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載する募集要項を確認してください。

### 【事前準備】

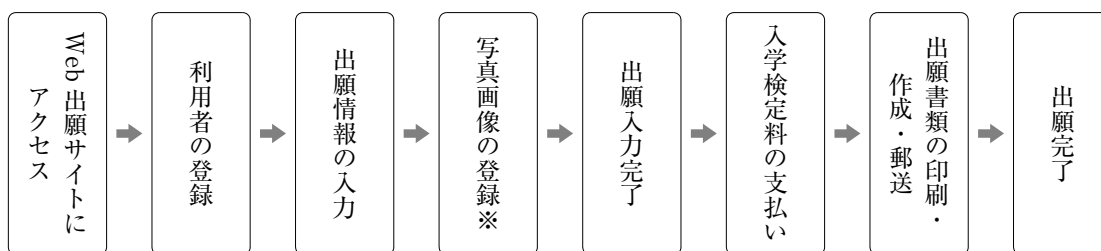
インターネットに接続されたパソコン等（スマートフォン、タブレット端末含む）、提出書類を印刷するためのプリンターと、利用登録時に必要となるメールアドレス、顔写真の画像ファイルが必要になります。

### 【Web 出願サイト】

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

上記 URL からアクセスし、画面の案内に従って、利用者登録及び、出願情報等を登録してください。

### 【Web 出願の流れ】



#### ※写真画像の登録について

- ・出願3ヵ月以内に撮影したフルカラー・正面上半身・無帽・無背景（白又はグレー等）に限ります。
- ・画像サイズは800×600ピクセルを推奨しています。
- ・ファイル形式は、jpeg か gif ファイルに限ります。
- ・不鮮明なものや横向きのものなど、不適切な写真は使用しないでください。

- ① 出願期間内に、「Web 出願登録」・「入学検定料納入」・「郵送が必要な出願書類の本学への到着」の全てを完了している必要があります。いずれか一つでも受付期間中に完了していない場合、出願を受理できません。
- ② 入学検定料は、コンビニエンスストア、銀行 ATM（Pay-easy）、ネットバンキング、クレジットカードにて支払いができます。
- ③ 出願書類の一部については、本学ホームページ（<http://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）から様式（PDF）をダウンロードして作成してください。

### 【Web 出願に関する問い合わせ先】

山梨大学教学支援部入試課

電話：055-220-8055

メール：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

## 《アドミッション・ポリシー》

### ◇山梨大学の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

#### [キャッチフレーズ]

地域の中核、世界の人材

#### [教育目標]

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

#### [アドミッション・ポリシー]

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人物を国内外から受け入れます。

#### [入学者に求める資質能力]

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

### ▽教育学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的にしています。

#### [キャッチフレーズ]

豊かな人間性と教育文化

#### [教育目標]

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。

#### [アドミッション・ポリシー]

これからの子どもの成長と発達に高い関心を持ち、教育現場の諸問題に取り組むことのできる情熱を持った教員を目指す人を求めています。そこで、次のような資質と能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの成長・発達や学校教育に対して高い関心を持っている人
- ・自ら深く学ぶため主体的に課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

各コースの専門性に応じた教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。同時に、将来教育に携わる者として、子どもの成長・発達や学校教育に対する関心、多様な考えの人たちとのコミュニケーション能力、個性豊かな考えとそれを表現する力を、様々な活動を通して身につけておくことを望んでいます。

## ▽医学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

### [理念・目的]

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身につけ、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

### [キャッチフレーズ]

国民の健康を支える医療人育成

### [教育目標]

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指しています。

### [アドミッション・ポリシー]

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています

- ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

医学部の授業内容を理解するためには、各コースの専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておく必要があります。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

#### ○医学科

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科学科として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを望みます。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

#### ○看護学科

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

## ▽工学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

### [理念・目的]

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

### [キャッチフレーズ]

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

### [教育目標]

基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

### [アドミッション・ポリシー]

工学部では、「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズとして掲げ「広い教養と

深い専門性をもち豊かな想像力と優れた判断力を備えた将来を担う工学系技術者を養成する」ため、工学技術者となって社会に貢献しようとする意志を持ち、積極的な学習意欲、基礎的学力、論理的思考力・表現力などを有する人を求めています。

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、社会の内容を十分に理解していることが必要です。希望する学科の専門に関連する内容を理解するだけでなく、自分の言葉で他者とコミュニケーションする素養を持つことを期待しています。

### ▽生命環境学部の理念・目標とアドミSSION・ポリシー

#### [理念・目的]

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

#### [キャッチフレーズ]

自然と社会の共生科学の創生

#### [教育目標]

生命科学・食物生産科学・環境科学・社会科学に関する実践教育により、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、自然と社会の共生の観点から持続可能で豊かな地域社会を実現できる人材の養成を目指します。

#### [アドミSSION・ポリシー]

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を行うため、自然と社会の共生科学の視点から、生命・食・環境・経営などの諸課題に取り組む、解決する意欲をもつ人を求めています。

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

生命環境学部では、授業内容を理解するために、学科の専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

##### ○生命工学科

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も望んでいます。入学試験で課している科目について、十分な学力を有していることを期待しています。

##### ○地域食物科学科

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科学科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

##### ○環境科学科

高等学校で履修した物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

##### ○地域社会システム学科

普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っていることを望んでいます。入学試験で課している科目の基礎的内容を十分に理解していることが必要です。

## 《医学部医学科入学定員の変更予定について》

医学部医学科の平成30年度以降の入学定員は、「新医師確保総合対策」及び「緊急医師確保対策」に基づいた暫定的な医学科定員増が平成29年度で終了することに伴い、15名減の110名となります。

本学では、平成30年度及び平成31年度についてもこれまでと同様の入学定員になるよう「新医師確保総合対策」及び「緊急医師確保対策」に基づいた暫定的な医学科定員増（15名）の延長申請を予定しております。定員増が承認された場合は、改めて入学定員の変更について本学ホームページ上で公表しますので、医学部医学科への出願を予定している方は必ず確認してください。

現状  
(平成30年度)

学部名	学科名	入学定員	入試区分	募集人員
医学部	医学科	110名	推薦	20
			後期	90

申請し承認された場合  
(平成30、31年度)

学部名	学科名	入学定員	入試区分	募集人員
医学部	医学科	125名	推薦	35
			後期	90

⇒



# I 入学定員（募集人員）

学部	課程・学科・コース名	入学定員	募 集 人 員							総募集人員
			一 般 入 試		推 薦 入 試			アドミッ ション・オ フイス入 試	私費外 国人留 学生入 試	
			前期日程	後期日程	一般枠	地域枠	専門学科 ・総合学科 卒業生			
教育 学部	学校教育課程	125								
	幼小発達教育コース		15	5						20
	障害児教育コース		12	5	3					20
	言語教育コース		10	3	2					15
	生活社会教育コース		15	5	2					22
	科学教育コース		18	6	3			1		28
	芸術身体教育コース		8	4	8					20
計	125	78	28	18		1			125	
医学 学部	医学科*1	110		90		20人以内				110
	看護学科	60	35	5	20					60
	計	170	35	95	20	20人以内				170
工 学 部	機械工学科	55	37	8	10					55
	電気電子工学科	55	35	7	10		3			55
	コンピュータ理工学科	55	35	8	10		2			55
	情報メカトロニクス工学科	55	35	5	13		2		若干人	55
	土木環境工学科	55	33	7	15					55
	応用化学科	55	26	7	14			8		55
	先端材料理工学科	35	25	6	4					35
計	365	226	48	76		7	8		365	
生命 環 境 学 部	生命工学科	35	30	5						35
	地域食物科学科	37	32	5						37
	ワイン科学特別コース*2	(13)	(13)							
	環境科学科	30	25	5						30
	地域社会システム学科	48	43	5						48
	観光政策科学特別コース*3	(13)	(13)							
計	150	130	20						150	
合 計	810	469	191	114	20人以内	8	8		810	

\*1 医学科の入学定員及び募集人員は、認可申請中であり、変更があります。承認された場合は、改めて入学定員について本学ホームページ上で公表しますので、出願を予定している方は必ず確認して下さい。

\*2 地域食物科学科ワイン科学特別コースの（ ）内の人員については、地域食物科学科の人員に含まれます。

\*3 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの（ ）内の人員については、地域社会システム学科の人員に含まれます。

## Ⅱ 出願資格

本学に出願できる方は、次の各号のいずれかに該当し、平成30年度大学入試センター試験のうち本学が指定した教科・科目を受験した方とします。ただし、推薦入試、アドミッション・オフィス入試及び私費外国人留学生入試については、別の出願要件（25ページ～34ページ）によります。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した方及び平成30年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び平成30年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方のうち次の各項目のいずれかに該当する方及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの方
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
  - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
  - エ 文部科学大臣の指定した方
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、平成30年3月31日までに18歳に達している方

上記カの個別の入学資格審査については、下記のとおりです。

### ① 申請対象者

平成30年度入学者選抜においては、平成30年度大学入試センター試験を受験予定及び受験した方で、次に該当する方とします。

- 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する方又は有する見込みの方

### ② 申請受付期間

- ・ 大学入試センター試験出願前に本学の入学資格審査を希望する方  
平成29年8月21日(月)～25日(金) [必着]
- ・ 大学入試センター試験出願後に本学の入学資格審査を希望する方  
平成30年1月15日(月)～16日(火) [必着]

### ③ その他

申請手続等詳細については、下記までお問い合わせください。

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

### Ⅲ 入学者の選抜方法

#### 1 教科・科目の表記について

大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史 A	世 A
		世界史 B	世 B
		日本史 A	日 A
		日本史 B	日 B
		地理 A	地理 A
		地理 B	地理 B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I・数学 A	数 I・数 A
		数学 II	数 II
		数学 II・数学 B	数 II・数 B
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情報
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B
数学	数	数学 I	数 I
		数学 II	数 II
		数学 III	数 III
		数学 A	数 A
		数学 B	数 B
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
外国語	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・コ ミュニケーション英語 II・コ ミュニケーション英語 III・英語表 現 I・英語表現 II・英語会話	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・コ ミュニケーション英語 II・コ ミュニケーション英語 III・英語表 現 I・英語表現 II・英語会話

## 2 一般入試（個別学力検査）の概要

### (1) 前期日程

学部・課程・学科・コース名		個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜			個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数				
							定員に対する倍率	その他			
教育学部	学校教育課程										
	幼小発達教育コース	○	×	×	×	×					
	障害児教育コース	○	×	○	×	×					
	言語教育コース	○	×	×	×	×	×	×	×		
	生活社会教育コース	○	×	×	×	×					
	科学教育コース	○	×	×	×	×					
	芸術身体教育コース	×	○	×	×	×					
医学部	看護学科	×	×	○ (注)4	○	×	×	×	×		
工学部	機械工学科										
	電気電子工学科										
	コンピュータ理工学科										
	情報メカトロニクス工学科	○ (注)5	×	×	×	×	×	×	×		
	土木環境工学科										
	応用化学科										
	先端材料理工学科										
生命環境学部	生命工学科										
	地域食物科学科(注)6	○	×	×	×	×	×	×	×		
	環境科学科										
	地域社会システム学科(注)7										

(注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。

2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。

3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。

4 医学部看護学科前期日程における面接の評価については、17ページを参照してください。

5 工学部の前期日程では、個別学力検査において受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

6 生命環境学部地域食物科学科は、ワイン科学特別コースを含みます。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

7 生命環境学部地域社会システム学科は、観光政策科学特別コースを含みます。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

(2) 後期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査							個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕		
			実技検査等					2段階選抜					
			個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率			その他	
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	×	×	○	×	×	×	×	×	3月12日		
		障害児教育コース	×	×	○	×	×						
		言語教育コース	×	×	○	×	×						
		生活社会教育コース	×	×	○	×	×						
		科学教育コース	×	×	○	×	×						
		芸術身体教育コース	×	○	○	×	×						
医学部	医学科	○	×	○ (注)4	×	×	○	約10倍	×	3月12日	追加合格及び欠員補充第2次募集		
	看護学科	×	×	○ (注)4	×	×	×	×	×	3月14日			
工学部	機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科	×	×	○ (注)5	×	×	×	×	×	×		3月12日	
		生命環境学部	生命工学科	×	×	○	×	×	×	×		×	3月12日
			地域食物科学科										
			環境科学科										
			地域社会システム学科										

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。  
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。  
 3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。  
 4 医学部医学科及び看護学科の後期日程における面接の評価については、17ページを参照してください。  
 5 工学部の後期日程では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

### 3 推薦入試、アドミッション・オフィス入試の概要

選抜方法等		一般推薦入試、専門学科・総合学科卒業生推薦入試							推薦入試 募集人員	アドミッション ・オフィス入試	備 考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を 免除し調査書を主な資料として判定する									
		個別学力 検査を免 除し、大 学入試セ ンター試 験を課す る	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	実 技 検 査 等							
実技検 査を課 する	面接を 行う			小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る						
学部・課程・学科・コース名											
教 育 学 部	幼小発達教育コース								19人 (注)4 参照	×	Ⅲ-5 推薦入試 (P25~27)を参照
	障害児教育コース	×	○	×	○	○	×	×			
	言語教育コース	×	○	×	○	○	×	×			
	生活社会教育コース	×	○	×	○	○	×	×			
	科学教育コース	×	○	×	×	×	×	○			
	芸術身体教育コース	×	○	○ (注)3	○	×	×	×			
医 学 部	医学科	○	×	×	○	×	×	×	20人以内 (注)5 参照	×	Ⅲ-5 推薦入試 (P28~29)を参照
	看護学科	×	○	×	○	○	×	×	20人		
工 学 部	機械工学科								83人 (注)6,7 参照	×	Ⅲ-5 推薦入試 (P30~32)を参照  Ⅲ-6 アドミッシ ョン・オフィス入 試 (P33)を参照
	電気電子工学科										
	コンピュータ理工学科										
	情報メカトロニクス工学科	×	○	×	○	○	×	×			
	土木環境工学科										
	応用化学科									○	
先端材料理工学科								×			
生 命 環 境 学 部	生命工学科									×	
	地域食物科学科										
	環境科学科										
	地域社会システム学科										

(注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。

2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。

3 教育学部の芸術身体教育コースの体育実技を選択する方は、活動実績報告書と、その証明書類の提出をもって実技検査とします。

4 次頁

5 次頁

6 次頁

7 次頁

(注) 4 教育学部推薦入試募集人員の内訳は、次表のとおりです。

課 程 ・ コ ー ス 名		募集人員	推薦入試の対象となる高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）・志願者の範囲
学校教育課程	障害児教育コース	3人	全国の国公立高等学校
	言語教育コース	2	
	生活社会教育コース	2	
	科学教育コース	3	
	科学教育コース	1	全国の国公立高等学校の工業に関連する学科 全国の国公立高等学校の総合学科のうち工業に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方
	芸術身体教育コース	8	全国の国公立高等学校

(注) 5 医学部医学科推薦入試募集人員の内訳は、次表のとおりです。

学 科 名	種 別	募集人員	推薦入試の対象となる高等学校の範囲
医学科	地域枠	20人以内	山梨県内の公立高等学校

※P6を参照

(注) 6 工学部一般推薦入試の募集人員の内訳は、次表のとおりです。

学 科 名	募集人員	推薦入試の対象となる高等学校の範囲
機械工学科	10人	全国の国公立高等学校
電気電子工学科	10	
コンピュータ理工学科	10	
情報メカトロニクス工学科	13	
土木環境工学科	15	
応用化学科	14	
先端材料理工学科	4	
計	76	

(注) 7 工学部専門学科・総合学科卒業生推薦入試の募集人員の内訳は、次表のとおりです。

学 科 名	募集人員	推薦入試の対象となる高等学校・志願者の範囲
電気電子工学科	3人	全国の国公立高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科において本学の志望学科に関係のある専門教育を受けた方
コンピュータ理工学科	2	
情報メカトロニクス工学科	2	
計	7	

# 4 一般入試等（入学者選抜の実施教科・科目等）

## (1) 教育学部

学部・学科等名 及び入学年度 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の選抜方法等
	教科	科目名等	教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	
教育学部 〔5.4〕 125人 前期 78人 後期 28人 その他 19人	国 地歴 公民 数 理 〔注2〕 外	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2又は 物、化、生、地から1	国語総合・国語表現・現代文A・古典B 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 2教科2科目を選択	センター試験 個別学力検査等 計	*200 *200 *300	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	600 400 1000	外国人 追加合格 欠員補充
		後期 3月12日	英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目又は8科目〕	面接	センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	900 100 1000	
障喜見 教育コ ース 20人 前期 12人 後期 5人 その他 3人	国 地歴 公民 数 理 〔注2〕 外	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2又は 物、化、生、地から1	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	50 50 50	150 150 150	100 100 100	100 100 100	150 150 150	100 100 100	100 100 100	100 100 100	600 400 1000	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		後期 3月12日	英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目又は8科目〕	面接	センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	900 100 1000
言語教 育コ ース 15人 前期 10人 後期 3人 その他 2人	国 地歴 公民 数 理 〔注2〕 外	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2又は 物、化、生、地から1	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 面接	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	600 400 1000	
		後期 3月12日	英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目又は8科目〕	面接	センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	150 150 150	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	900 100 1000
生活社 会教 育コ ース 22人 前期 15人 後期 5人 その他 2人	国 地歴 公民 数 理 〔注2〕 外	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 以下に示すa、bのうち、いずれかを選択 a 物基、化基、生基、地基から2又は物、化、生、地から1 b 物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1又は物、化、生、地から2	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B 物基・物、化基・化、生基・生 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 2教科2科目を選択	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	(200) (100) (200)	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	600 400 1000	
		後期 3月12日	英、独、仏、中、韓から1 〔5又は6教科6科目又は7科目又は8科目〕	面接	センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	(200) (100) (200)	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	900 100 1000

\*印の教科については、選抜教科を示します。





- (2) 生活社会教育コースにおける大学入試センター試験の（ ）は、上段は地理歴史及び公民を2科目と理科aを受験した場合の配点、下段は地理歴史及び公民を1科目と理科bを受験した場合の配点を示します。
- (3) \*印の教科については、選択教科を示します。
- 5 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
- 6 学部・学科等名及び入学定員等欄のその他は、推薦入試募集人員及び私費外国人留学生入試募集人員を合計した数です。

本学の平成30年度入学選抜における大学入試センター試験の成績は、平成30年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

**【入学試験に過去問題を使用することに関する】**

- (1) 本学のアドミSSION・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。 <http://www.nyushikakomon.jp>

(2) 医学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度 志願倍率〕	入学試験センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		入学試験センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の 選抜方法 等					
	科目	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
医学部 〔10.3〕 170人 前期 90 後期 20 その他	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生から2 英	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物、化、生から2 面接	約10倍 (別紙 1-2 P24参 照)	センター試験	200	100	100	100	100	300 注3(1)			800	推薦 追加合格 次員補充
看護学科 60人 前期 35 後期 5 その他 20	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から1 英	その他 小論文 面接			センター試験	200	100	100	200	100	200 注3(1)			800	
						個別学力検査等							200 注3(3)	200 注3(3)	400	
						計	200	100	100	200	100	200 注3(3)	200 注3(3)	200 注3(3)	1200	
						センター試験	200	100	100	200	100	200 注3(1)			800	
						個別学力検査等							400(個人 注3(4))	400 注3(4)	400	
						計	200	100	100	200	100	200 注3(3)	200 注3(3)	400 注3(4)	1200	

(注)

- 1 入学試験センター試験の利用教科・科目等
  - (1) 入学試験センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
  - (2) 入学試験センター試験の「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
  - (3) 入学試験センター試験の「基礎を付していない科目」及び「基礎を付した科目」から3科目を受験した場合は、「理科の「基礎を付していない科目」の得点」又は「理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点」又は「理科の「基礎を付していない科目」の得点」のうち、いずれか得点の高い成績とします。
- 2 個別学力検査等

数 学

- (1) 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- (2) 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

物 理

- (3) 医学科の後期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化 学

- (4) 医学科の後期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

生 物

- (5) 医学科の後期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

3 入学試験センター試験・個別学力検査等の配点等

- (1) 入学試験センター試験における英語のリスニングテストの成績は全教科で利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、外国語の得点は、表中「入学試験センター試験・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
- (2) 入学試験後期日程においては、面接の評価が合格に達しない人は入学試験センター試験の成績及び個別学力検査等の成績に問わず、不合格となります。
- (3) 看護学科前期日程においては、小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない場合、入学試験センター試験の成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。
- (4) 看護学科後期日程においては、面接評価得点が合格基準に達しない場合、入学試験センター試験の成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。また、面接は個人面接を2回行います。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

5 学部・学科等名及び入学定員等欄のその他は、推薦入試募集人員を合計した数です。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】  
 本学の平成30年度入学者選抜における入学試験センター試験の成績は、平成30年度入学試験センター試験の成績のみ利用します。

- (1) 入学試験に過去問題を使用することに関して、必要と認められる範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することも、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

(3) 工学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	小論文	実技	面接	配点 合計
工学部 〔2.9〕 機械工学科 55人 前期 37 後期 8 前期 226 後期 48 その他 10 AO 8 その他 83	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物		センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人
	後期 3月12日		その他	面接		個別学力検査等											400	追加合格 欠員補充
						計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	
工学部 〔2.9〕 電気電子工 学科 55人 前期 35 後期 7 その他 13	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物		センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日		その他	面接		個別学力検査等											400	
						計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1300	
工学部 〔2.9〕 コンピュータ 理工学科 55人 前期 35 後期 8 その他 12	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物、化基・化から1		センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日		その他	面接		個別学力検査等											400	
						計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1300	
						計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等			
		教科		科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		実技	面接	配点 合計
		国	地歴 公民	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕														
工学部 〔2.9〕 365人 前期 226 55人 後期 48 前期 35 AO 8 後期 5 その他 83 15	前期 2月25日	国 地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	センター試験	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日	その他	面接	その他	面接	個別学力検査等												400	
土木環境工 学科 55人 前期 33 後期 7 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物、化基・化から1	センター試験	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接	その他	面接	個別学力検査等												400	
応用化学科 55人 前期 26 後期 7 AO 8 その他 14	前期 2月25日	国 地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 化基・化	センター試験	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接	その他	面接	個別学力検査等												400	
						計	200	100	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	
						計	200	100	100	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度 志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接		配点 合計
工学部 〔2.3〕 先端材料理 工学科 365人 前期 226 後期 25 後期 48 AO 8 その他 83	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A、教II・教Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	教 理	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物、化基・化から1	センター試験	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人
	後期 3月12日		その他	面接	計	200	100	100	450	350	200					400	追加合格 欠員補充
					センター試験	200	100	100	300	300	200	200				1100	
					個別学力検査等												
					計	200	100	100	300	300	200					1100	

(注)

1 大学入試センター試験の利用教科・科目等

(1) 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

2 個別学力検査等

数学

(1) 前期日程における個別学力検査等の数学I、数学II、数学III、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。

(2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

物理

(3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化学

(4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

その他

(5) 前期日程の個別学力検査で「物理」を受験する方は、機械工学、電気電子工学、コンピュータ理工学、情報メカトロニクス工学、土木環境工学、先端材料理工学の間で、「化学」を受験する方は、コンピュータ理工学、土木環境工学、先端材料理工学の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

(6) 後期日程においては、全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

3

(1) 大学入試センター試験における英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、外国語の得点は、表中「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

(2) 面接については、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験生の中から、大学入試センター試験の成績に基づき合格者を決定します。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

5 学部・学科等名及び入学定員等欄のその他は、推薦入試募集人員及び私費外国人留学生入試募集人員を合計した数です。

【注】 大学の平成30年度入学者選抜における大学入試センター試験の成績は、平成30年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

(4) 生命環境学部

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成29年度) (志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	実技	面接	配点 合計
生命工学科 学部 (3.7) 150人 前期 後期 20	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	900	追加合格 欠員補充
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他 面接	数I・数A・数II・数B 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	300	300	200	200	200	200	1100	
地域食料科 学科 37人 前期 後期 32 学特別コー スの13人を 含む 後期 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	100	100	100	200	200	250	200	200	200	850	
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他 面接	数I・数A・数II・数B 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	100	100	100	300	400	250	400	250	400	1150	
環境科学科 30人 前期 後期 25 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他 面接	数I・数A・数II・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	900	

学部・学科等名 及び入学年度等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技		面接	配点 合計
生命環境 学部 〔3.7〕	前期	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 物、化、生、地から1又は2 物基、化基、生基、地基から2（2科目で1 科目とみなします。） 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1	国語総合・国語表現・現代文A・現 代文B・古典A・古典B 数I・数A・数II・数B コミュニケーション英語基礎・コミュ ニケーション英語I・コミュニケーション英 語II・英語表現I・英語表現II・英語会話	国 数 外	から1	センター試験	200	※100 又は200〔注3(1)〕	※100	200	※100 又は200〔注3(1)〕	200	200				800	追加合格 欠員補充
	後期	後期 3月12日	5教科6科目（理科の基礎を付した科目を含む場合は 5教科のみなし6科目）又は4教科6科目（理科の基礎 を付した科目を含む場合は4教科のみなし6科目）	その他 面接		計	*500	*100 又は200	*100	*500	*100 又は200	500					1400	
						センター試験	200	※100	※100	200	※100 又は200〔注3(1)〕						800	
						個別学力検査等												
						計	200	※100	※100	200	※100 又は200	200				〔注3(3)〕	800	

※・\*印の教科については、選択教科を示します。

(注)

- 1 大学入試センター試験の利用教科・科目等
  - (1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入試センター試験の「地理」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
  - (2) 地域社会システム学科については大学入試センター試験の「地理」、「公民」、「理科」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地理」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
- 2 個別学力検査等
  - 3 数学
    - (1) 前期日程における個別学力検査等の数学I、数学II、数学III、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
    - (2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。
  - 4 物理
    - (3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
  - 5 化学
    - (4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
  - 6 生物
    - (5) 前期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。
- 3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等
  - (1) 大学入試センター試験における英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比擬できるようにします。なお、外国語の得点は、表中「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
  - (2) ※と\*印の教科については、選択教科を示します。
  - (3) 後期日程においては、面接試験及び大学入試センター試験の成績により選考します。
  - 4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
  - 5 その他
    - (1) 地域食物科学科ワイン科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。
    - (2) 地域社会システム学科観光政策科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。

本学の平成30年度入学者選抜における大学入試センター試験の成績は、平成30年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

【入試試験に過去問題を使用することに関して】

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することも、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学のURLについては、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp



## 実技検査の内容（学校教育課程）

（前期日程・後期日程）

課程・コース	実技検査の内容・注意事項
学校教育課程 芸術身体教育コース	以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。
	<p><b>音楽実技を選択する方</b>            下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p><b>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験）</b>            下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度）            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.15～No.35より当日1、2曲指定する。            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。            高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。            （暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p><b>Ⅱ 選択課題（演奏実技）</b>            任意の器楽曲、又は声楽曲を1曲演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合            試験当日楽譜を持参すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 原語で演奏すること。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み）            以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（曲名及び楽器名を明示。）を同封すること。</p> <p>③ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。            2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p><b>美術実技を選択する方</b>            造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。</p> <p>2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
	<p><b>体育実技を選択する方</b>            運動技能に関する検査（運動を行うのにふさわしい服装を準備すること。更衣室の利用可。）</p> <p>活動実績報告書と、その証明書類を提出すること。</p>

## 2 段階選抜について

志願者数が募集人員の所定の倍率を超えた場合は、第1段階選抜を行い、第1段階合格者に対して、個別学力検査等を実施します。

### 【医学部医学科後期日程】

大学入試センター試験の成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入試センター試験の配点は、下記のとおりとし、調査書は総合判定の資料とします。

国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計
200	100	200	200	200	200	900

## 5 推薦入試

### (1) 教育学部（一般推薦入試）

実施課程名	学校教育課程		
募集人員	コース	募集人員	推薦入試の対象となる志願者の範囲と選抜方法
	障害児教育コース	3人	全体の評定平均値が4.0以上 面接・小論文を課す
	言語教育コース	2	全体の評定平均値が4.0以上 面接・小論文を課す
	生活社会教育コース	2	全体の評定平均値が4.0以上 面接・小論文を課す
	科学教育コース	3	全体の評定平均値が4.0以上で、「数学Ⅲ」を履修していること 口述試験を課す (数学、理科、一般的な科学技術に関する内容を含みます。(注)参照)
	芸術身体教育コース	8	全体の評定平均値が3.8以上 実技検査(別紙2P26参照)・面接を課す
出願要件	<p>1 推薦し得る学校及び推薦人員          推薦し得る学校は、全国の国公立高等学校とし、1高等学校から推薦し得る人員は、各コースごとに1人とします。(科学教育コースは2人までとします。)</p> <p>2 推薦入試志願者の資格等          推薦入試志願者は、次の(1)(2)(3)(4)の条件をすべて満たしている方とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年度中に卒業した方及び卒業見込みの方</p> <p>(2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の評定平均値等が上記の範囲の方</p> <p>(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲を持った方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方</p> <p>(4) 合格した場合は入学することを確約できる方</p>		
選抜方法等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、活動実績報告書とその証明書類(学校教育課程芸術身体教育コースの体育実技を選択する方)の内容、本学が実施する面接、小論文、実技検査等の各成績の結果を総合して判定し、合格者を決定します。		
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)		
選抜期日	平成29年11月18日(土)		
合格発表日	平成29年11月27日(月)		
その他			

(注) 科学教育コースでは、受験票送付の際に、「数学」、「理科」、「一般的な科学技術」に関連したテーマを各一つ記した書類を同封します。

受験生は、それらのテーマの中から一つを選択し、そのテーマに沿った小論文をあらかじめ書いて、それを口述試験当日に持参してください。科学教育コースでは、受験生から提出された小論文を参考資料として「数学」、「理科」、「一般的な科学技術」のうちいずれかに関する内容を含む口述試験を行います。

(送付されてきた受験票にテーマが同封されていなかった場合、教学支援部入試課に連絡してください。)

## 実技検査の内容（学校教育課程）

教育学部（一般推薦入試）

課程・コース	実技検査の内容・注意事項
学校教育課程 芸術身体教育コース	以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。
	<p><b>音楽実技を選択する方</b>            下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験）            下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度）            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.15～No.35より当日1、2曲指定する。            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。            高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。            （暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p>Ⅱ 選択課題（演奏実技）            任意の器楽曲、又は声楽曲を演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合</p> <p>① 1曲又は数曲を演奏すること（10分程度）。            ② 試験当日楽譜を持参すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 日本歌曲を含む2曲を演奏すること。外国語は原語で演奏すること。            ② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 1曲又は数曲を演奏すること（5～10分程度）。            ② 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み）            以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。            ③ 出願時に演奏曲の楽譜（曲名及び楽器名を明示。）を同封すること。            ④ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。            2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでよい。</p>
	<p><b>美術実技を選択する方</b>            造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。            2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
<p><b>体育実技を選択する方</b>            高等学校在籍時の各種大会参加等の活動実績について、「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を用いて実技検査とする。</p>	

(2) 教育学部（専門学科・総合学科卒業生推薦入試）

実施課程名	学校教育課程		
募集人員	コース	募集人員	推薦入試の対象となる志願者の範囲
	科学教育コース	1人	全国の国公私立高等学校の工業に関連する学科を卒業見込みの方 全国の国公私立高等学校の総合学科を卒業見込みの方のうち、工業に関する科目を含め 職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方
出願要件	<p>1 推薦し得る学校及び推薦人員 推薦し得る学校は、全国の国公私立高等学校とし、1高等学校から推薦し得る人員は1人とします。</p> <p>2 推薦入試志願者の資格等 推薦入試志願者は、次の(1)(2)(3)(4)の条件をすべて満たしている方とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年度中に卒業した方及び卒業見込みの方</p> <p>(2) 上記の募集人員欄の推薦入試の対象となる高等学校・志願者の範囲に該当する方</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評が「A」以上で、本学部入学後、学業に意欲的に取り組むことを高等学校長が責任をもって推薦できる方</p> <p>(4) 合格した場合は入学することを確約できる方</p>		
選抜方法等	<p>科学教育コースの技術教育系を希望する方に、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、下記の方法により選抜します。</p> <p>口述試験（「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含む。）、推薦書及び調査書を総合して判定し、合格者を決定します。</p>		
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)		
選抜期日	平成29年11月18日(土)		
合格発表日	平成29年11月27日(月)		
その他			

(3) 医学部医学科 (推薦入試)

実施学科名	医学科
募集人員	地域枠 20人以内 (欠員が生じた場合は、後期日程で補充します。) (注) P6を参照
出願要件	<p>○地域枠</p> <p>山梨県内の高等学校を平成29年3月に卒業した方 (平成28年4月から平成29年3月までの学年の途中において卒業した方を含む。) 並びに平成30年3月高等学校を卒業見込みの方 (単位制高校で、卒業が3月でない場合に限り、平成29年度に卒業した方を含む。) で、次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できる方とします。</p> <p>ア 山梨県医師修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間 (山梨県医師修学資金給付制度の規程による。) 山梨県内 (本学を含む。) で診療に従事することを確約できる方</p> <p>イ 高等学校における調査書の学習成績概評が「A」又は「A」である方</p> <p>ウ 合格した場合は入学することを確約できる方</p> <p>なお、平成30年度大学入試センター試験の本学が指定した教科・科目の受験が必要です。</p>
選抜方法等	<p>第1次選考</p> <p>学校長から提出された推薦書、調査書及び志願理由書並びに大学入試センター試験の成績により、第1次選考の合格者を決定します。なお、第1次選考の合格者数は、募集人員の約1.5倍とします。ただし、志願者が募集人員の約1.5倍を超えない場合は、第1次選考を行いません。</p> <p>第2次選考</p> <p>第1次選考の合格者に対して、面接を課し、この評価及び学校長から提出された推薦書、調査書及び志願理由書並びに大学入試センター試験の成績を総合評価して、第2次選考の合格者を決定します。</p> <p>平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目</p> <p>国語 (国)</p> <p>地歴 (世B、日B、地理B、倫・政経から1)</p> <p>公民</p> <p>数 (数I・数A) (数II・数B)</p> <p>理 (物、化、生から2)</p> <p>外 (英)</p> <p>〔5教科7科目〕</p> <p>(注) 1 「外国語」の「英語」は、リスニングテストの成績も利用します。</p> <p>2 「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。</p>
出願期間	平成29年12月12日(火)～12月18日(月)
選抜期日	平成30年2月6日(火) (第2次選考)
合格発表日	平成30年2月7日(水)
その他	<p>① 出願要件の「A」とは学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる方です。この場合、高等学校長は調査書の「備考」の欄にその理由を明示しなければなりません。</p> <p>② 山梨県医師修学資金給付制度による奨学金が給付されます。</p> <p>③ 詳細は、10月上旬頃に発表する「平成30年度医学部推薦入試学生募集要項」を参照してください。</p>

(4) 医学部看護学科（推薦入試）

実施学科名	看護学科
募集人員	20人（欠員が生じた場合は、前期日程で補充します。）
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣により高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設を含む。）若しくは中等教育学校を平成28年3月及び平成29年3月に卒業した方（平成27年4月から平成29年3月までの学年の途中において卒業した方を含む。）並びに平成30年3月高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの方（単位制高校・在外教育施設等で、卒業が3月でない場合に限り、平成29年度に卒業した方を含む。）で、次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できる方とします。</p> <p>ア 本学志望の動機が明確で、将来看護学の分野で社会に貢献する意欲をもっている方</p> <p>イ 高等学校若しくは中等教育学校後期課程における調査書の全体の評定平均値が4.0以上である方</p> <p>ウ 課外活動等にも積極的に参加して、充実した高等学校若しくは中等教育学校生活を送った方</p> <p>エ 合格した場合は入学することを確約できる方</p>
選抜方法等	小論文及び面接を課し、この評価並びに学校長の推薦書及び調査書を総合的にみて、入学者を選抜します。
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)
選抜期日	平成29年11月18日(土)
合格発表日	平成29年11月27日(月)
その他	

## (5) 工学部（一般推薦入試）

実施学科名	機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科																
募集人員	<table> <tr> <td>機械工学科</td> <td>10人</td> <td>電気電子工学科</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ理工学科</td> <td>10人</td> <td>情報メカトロニクス工学科</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>土木環境工学科</td> <td>15人</td> <td>応用化学科</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>先端材料理工学科</td> <td>4人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機械工学科	10人	電気電子工学科	10人	コンピュータ理工学科	10人	情報メカトロニクス工学科	13人	土木環境工学科	15人	応用化学科	14人	先端材料理工学科	4人		
機械工学科	10人	電気電子工学科	10人														
コンピュータ理工学科	10人	情報メカトロニクス工学科	13人														
土木環境工学科	15人	応用化学科	14人														
先端材料理工学科	4人																
出願要件	<p>1 推薦し得る学校及び推薦人員 推薦し得る学校は、全国の国公私立高等学校とし、1高等学校から推薦し得る人員に制限はありません。</p> <p>2 推薦入試志願者の資格等 推薦入試志願者は、次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている方とします。大学入試センター試験の受験は必要としません。 なお、別途実施する「工学部専門学科・総合学科卒業生推薦入試」との併願はできません。</p> <p>(1) 高等学校を平成28年4月から平成30年3月までに卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 被推薦者の高等学校の学業成績に対する条件 機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、情報メカトロニクス工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科については、高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の評定平均値が3.8以上、若しくは数学の評定平均値が4.0以上である方 応用化学科については、高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の評定平均値が3.8以上、若しくは理科の評定平均値が4.0以上、又は数学の評定平均値が4.0以上である方</p> <p>(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲を持った方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方 ただし、高等学校の普通科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、別表（P31）に示す○印を付した科目を履修していることが望ましい。 また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、志望学科ごとに別表に示す○印を付した科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方</p>																
選抜方法等	<p>高等学校長から提出される推薦書、調査書の各内容、本学が実施する小論文及び面接の各成績の結果を総合して判定し、合格者を決定します。</p> <p>小論文及び面接においては、数学・理科・外国語の素養に関する試問を含むこともあります。</p>																
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)																
選抜期日	平成29年11月18日(土)																
合格発表日	平成29年11月27日(月)																
その他																	



別 表

出願要件(3)の履修していることが望ましい科目

学 科	教 科 科 目	数 学		理 科			
		数Ⅱ・数B	数Ⅲ	物理基礎	物理	化学基礎	化学
機 械 工 学 科		○	○	○	○		
電 気 電 子 工 学 科		○	○	○	○		
コ ン プ ュ ー タ 理 工 学 科		○	○	○	○		
情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科		○	○	○	○		
土 木 環 境 工 学 科		○	○	○	○	○	
応 用 化 学 科		○	○	○	○	○	○
先 端 材 料 理 工 学 科		○	○	○	○	○	○

(6) 工学部（専門学科・総合学科卒業生推薦入試）

実施学科名	電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科
募集人員	電気電子工学科 3人 コンピュータ理工学科 2人 情報メカトロニクス工学科 2人
出願要件	<p>1 推薦し得る学校及び推薦人員 推薦し得る学校は、全国の国公私立高等学校とし、1高等学校から推薦し得る人員に制限はありません。</p> <p>2 推薦入試志願者の資格等 推薦入試志願者は、次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている方とします。大学入試センター試験の受験は必要としません。 なお、別途実施する「工学部一般推薦入試」との併願はできません。</p> <p>(1) 高等学校で職業に関する学科若しくは総合学科において、本学の志望学科に関係のある専門教育を受けて卒業した方又は平成29年度中に卒業見込みの方</p> <p>(2) 高等学校の学業成績が優秀で調査書の全体の評定平均値が3.8以上である方</p> <p>(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲を持った方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方</p>
選抜方法等	高等学校長から提出される推薦書、調査書の各内容、本学が実施する小論文及び面接の各成績の結果を総合して判定し、合格者を決定します。小論文及び面接においては、論理的思考力、基礎的素養、高等学校の専門課程で学習した成果などに着目して総合的に評価します。また、数学・理科・外国語の素養に関し試問することもあります。
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)
選抜期日	平成29年11月18日(土)
合格発表日	平成29年11月27日(月)
その他	

## 6 アドミッション・オフィス入試

### 工学部

実施学科名	応用化学科
募集人員	8人
出願要件	<p>アドミッション・オフィス入試志願者は、次の(1)～(6)の条件をすべて満たしている方とします。大学入試センター試験の受験は必要としません。</p> <p>(1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの方</p> <p>(2) 学業成績が優秀で、調査書の評定平均値等が次の①～③のいずれかを満たしている方</p> <p>①化学基礎または化学、あるいはそれらに相当する科目の評定が4以上である方</p> <p>②数学の評定平均値が4.0以上である方</p> <p>③全体の評定平均値が4.0以上である方</p> <p>(3) 高等学校在学中に化学グランプリに参加し、その一次選考の成績を提出できる方</p> <p>(4) 本学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方</p> <p>(5) 合格した場合は、入学することを確約できる方</p> <p>(6) 化学基礎及び物理基礎、あるいはそれに相当する科目を履修している方、もしくは履修する見込みの方</p> <p>ただし、高等学校の普通科に在籍している志願者については、数Ⅱ・数B、数Ⅲ、化学、物理を履修していることが望ましい。また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科に在籍している志願者については、これらの科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を課さず、以下の第一次選抜及び第二次選抜により行います。</p> <p><b>第一次選抜 【書類審査】</b></p> <p>化学グランプリの一次選考の成績、志望理由書、調査書の各内容を総合して判定し、第一次選抜の合格者を決定します。第一次選抜の合格者には、受験票及び第二次選抜において行う実験・実習の概要と当日持参するものについての通知を送付します。</p> <p><b>第二次選抜 【一般面接、実験・実習とその結果発表・質疑応答】</b></p> <p>第一次選抜の合格者に対して、第二次選抜を実施します。一般面接では目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。実験・実習とその結果発表・質疑応答では、はじめに実験・実習を行い、その結果をレポートにまとめ、発表してもらいます。その後、実験・実習とレポートの内容について質疑応答を行います。ここでは探求意欲、観察力、論理的思考力、コミュニケーション力などを評価します。さらに化学グランプリの一次選考の成績を総合して判定し、合格者を決定します。</p>
出願期間	平成29年8月21日(月)～8月25日(金)
選抜期日	<p>第一次選抜：平成29年9月8日(金)</p> <p>第二次選抜：平成29年9月30日(土)</p>
合格発表日	平成29年10月6日(金)
その他	

## 7 私費外国人留学生入試

### 教育学部、工学部

- ① 本学の教育学部及び工学部では、大学入試センター試験を免除し、私費外国人留学生のための入学者選抜を実施します。
- ② 選抜にあたっては、独立行政法人 日本学生支援機構が平成29年6月及び11月に実施する「平成29年度日本留学試験」の成績を利用しますので、必ず受験してください。  
なお、利用科目等については、下表を参照してください。
- ③ 教育学部並びに工学部機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、情報メカトロニクス工学科及び先端材料理工学科は「日本留学試験」のほかに、英語科目としてTOEFLまたはTOEICの成績を利用しますので、必ず受験してください。
- ④ 詳細は、12月1日（金）までに発表予定の「平成30年度山梨大学私費外国人留学生入試募集要項」を参照してください。

#### ・日本留学試験の利用科目等

学部・学科等名		利 用 科 目 名	出題言語
教育学部	学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	①日本語 ②総合科目 ③数学（コース1）	日本語
	学校教育課程 生活社会教育コース	①日本語 ②総合科目 ③数学（コース1） ④理科（物理・化学・生物から2科目選択）から日本語を含む3科目を選択	
	学校教育課程 科学教育コース	①日本語 ②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
工学部	機械工学科	①日本語 ②理科（物理・化学） ③数学（コース2）	日本語
	電気電子工学科	①日本語 ②理科（物理必須、化学・生物から1科目選択、合計2科目） ③数学（コース2）	
	コンピュータ理工学科	①日本語 ②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	情報メカトロニクス工学科	①日本語 ②理科（物理必須、化学・生物から1科目選択、合計2科目） ③数学（コース2）	
	土木環境工学科	①日本語 ②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	応用化学科	①日本語 ②理科（物理・化学） ③数学（コース2）	
	先端材料理工学科	①日本語 ②理科（物理・化学） ③数学（コース2）	

(注) 利用科目には、得点基準が定まっているので募集要項にて確認してください。

## IV 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

### 1 相談の方法

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に申し出てください。

申し出の内容により相談が必要と思われる場合は、学長あての相談申請書(次の①～⑤の事項を記したもの(書式は任意))及び⑥、⑦を添付のうえ、一般入試については、平成30年1月4日(木)までに、その他の入試については、出願開始の1か月前までに教学支援部入試課へ提出してください。

また、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 選抜試験名、志望学部、学科、課程・コース、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 高等学校在学中にとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先(現住所、電話等)
- ⑥ 医師の診断書等、病気・負傷や障害等の状況がわかる文書あるいはそのコピー
- ⑦ 大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」のある方はそのコピー

### 2 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限以降に、不慮の事故等で負傷し、新たに身体に障害を有することとなり、受験上又は修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に申し出てください。

### 3 連絡先

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

## V 大学案内等の請求方法

山梨大学では平成30年度入学者選抜にかかる学生募集から、Web 出願を開始します。

学生募集要項は本学ホームページに (<http://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) 掲載しますので、募集要項（願書）を取り寄せる必要はありません。

なお、私費外国人留学生入試は、Web 出願を行いませんので、募集要項（願書）を請求してください。

### 1 請求方法

次の(1)~(4)のいずれかの方法で請求してください。


#### (1) 大学のホームページから請求する場合

本学のホームページからテレメール、モバっちょを利用して、資料請求が出来ます。

<http://www.yamanashi.ac.jp> 「入試情報」 → 「資料請求」

#### (2) テレメールで請求する場合【取扱資料：大学案内、私費外国人留学生入試募集要項】

① 下記のいずれかの方法で、テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	スマホ・ケータイ用 QR コード (資料請求番号の入力不要)	
自動音声応答電話	I P 電話 050-8601-0101 (24時間受付)		
	*一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 *住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。 登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。		

② 資料請求番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号	発送開始日
大 学 案 内	5 6 3 3 5 2	5 月 上 旬
私費外国人留学生入試募集要項（教育学部・工学部）	5 8 3 3 8 2	12月 上 旬 頃
私費外国人留学生入試募集要項（教育学部・工学部）・大学案内	5 4 3 3 8 2	12月 上 旬 頃

③ ガイダンスに従って登録してください。

- ・資料請求から2～3日程で送付されます。ただし、発送開始日までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に郵送します。
- ・送料は資料到着後、同封されている支払い方法に従いお支払いください。

④ (2)の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

#### (3) モバっちょで請求する場合【取扱資料：大学案内】

次のいずれかの方法でアクセスしてください。

インターネット (携帯電話・スマートフォン・パソコン)	<a href="http://djcm-b.jp/yamanashi3/">http://djcm-b.jp/yamanashi3/</a>	QRコード	
携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、利用できない場合があります。			

【料金の支払方法】

①請求時払い

携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。支払手数料は別途50円必要です。

②後払い

資料到着後、コンビニでお支払ください。支払手数料は別途126円必要です。

(3)の請求方法に関するお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

(4) 本学へ直接請求する場合

① 本学窓口へ来学する場合

次の方法にて、入手できます。

- ・総合案内所（本学北側正門前）／土・日・祝日を含む
- ・入試課窓口／月～金曜日 9：00～17：00（祝日、夏季休業、年末年始等を除く）

② 本学へ郵送にて直接請求する場合

大学あて封筒の表に希望する募集要項名を朱書きするとともに、返信用封筒を同封のうえ請求してください。（記入例：私費外国人留学生入試募集要項 請求）

なお、返信用封筒（標準角形2号（33cm×24cm））には、返信先の住所、氏名を明記し、郵便切手を貼り付けてください。

所定額の郵便切手及び返信用封筒が同封されていない場合は、請求に応じかねます。

③ 請求できる資料の種類・発表予定時期等一覧

要 項 名 等	切手代	発送予定時期
大学案内	215円	5月上旬
私費外国人留学生入試募集要項（教育学部・工学部）	180円	12月上旬頃
私費外国人留学生入試募集要項（教育学部・工学部）・大学案内付	300円	

募集要項と大学案内冊子を併せて請求したい場合は、大学案内付の欄の切手を貼付し、大学案内請求の旨も朱書きで追記してください。

## 2 募集要項等の請求及び問い合わせ先

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046



## VI 入試情報ホームページ

山梨大学ホームページアドレス	<a href="http://www.yamanashi.ac.jp">http://www.yamanashi.ac.jp</a>
募集要項掲載ページアドレス	<a href="http://www.yamanashi.ac.jp/admission/291">http://www.yamanashi.ac.jp/admission/291</a>
Web 出願サイトアドレス	<a href="https://syutugan.yamanashi.ac.jp">https://syutugan.yamanashi.ac.jp</a>
携帯電話サイトアドレス	<a href="http://daigakuic.jp/yamanashi/">http://daigakuic.jp/yamanashi/</a>



携帯電話サイト QR コード

**リサイクル適性 (A)**

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。